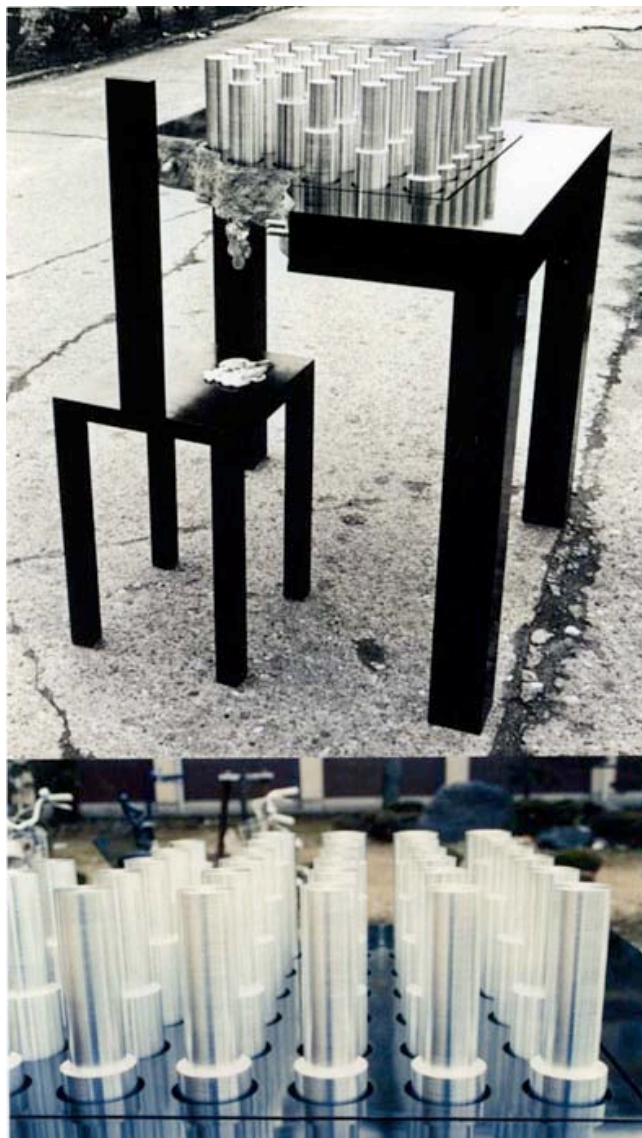


『私を創ってくれた3つの作品』

スペースデザイン部会員 西村 俊夫

<作品 1>



作品名：SCENE 88A

出展：第 52 回新制作展（1988 年）

サイズ：w850 × d850 × h1100

材質：シナ合板，エゾ松，アルミ丸棒，

二回目の新作家賞をいただいた作品です。机の上にアルミニウムの円柱が並んでいます。直径 60mm のアルミの丸棒を旋盤で加工したものです。旋盤は大学の工房にあったものをお借りしました。やや小型のだいぶ古いものです。トースカンとプラスチックハンマーで中心を出してからチャックで固定し、バイトで少しずつ削るという作業の繰り返しです。夏休みの工房で扇風機を回しながらシュルシュルとアルミを削る感覚が楽しくて夢中で作業したことを覚えています。

<作品 2>



作品名：SQUARE-CIRCLE 99

出展：第 63 回新制作展（1999 年）

サイズ：w2640 × d1320 × h1240

材質：杉，ピーラー

厚さ 3 ミリに製材した杉板をはぎ合わせて 1 枚の大きな正方形を作りました。この正方形を一定間隔で重ねてかたちが作られています。これまであまり使用することがなかった杉の板材を使いました。杉の木目，特に板目の木目が気に入りました。正方形の内側は直径の異なる円形で抜いています。離れて横から見ると半球が見えるようになります。

<作品 3>



作品名：杉の列-012

出展：第76回新制作展（2012年）

サイズ：w1060 × d1060 × h500

材質：杉，シナ合板

杉の角材を256本並べた作品です。角材の上部と下部は、太さを角材ごと変えてあります。上部には、円形のくぼみができるような加工を施しました。内部は、太さを変化させた角材を並べることによってドーム状の形が形成されるように配置しました。くぼみのある矩形の全体像とうっすらと見えるドーム状の形状、これらによって多層の空間を持つ立体となるようにしようと思いました。実際に座ることが可能なものとして制作しました。



- 1950 宮城県生まれ
- 1977 東京教育大学大学院教育学研究科修士課程修了
- 1983 新制作展 新作家賞受賞
- 1988 新制作展 新作家賞受賞
- 1996 新制作協会 会員推挙
- 2003 越後妻有アートトリエンナーレ 2003 (共同制作)
- 2007 空間の彩展 (画廊るたん)
- 2008 第2回空間の彩展 (画廊るたん)
- 2012 新制作協会スペースデザイン部有志山形展 (山形市：文翔館)